

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 069	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 相模湾の貧栄養の調査分析について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 近年相模湾では、海中の栄養塩濃度の低下による貧栄養が問題になっており、カジメ養殖等には栄養塩の供給が必要不可欠になっている。 また、魚類、特に放流漁（ヒラメ等の稚魚）への影響についても懸念される。 そこで河川等から供給される栄養塩についての濃度、流入量等の調査、分析を要望する。 また、黒潮の大蛇行による原因も考えられることから、これらの影響要因の調査についても要望する。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部、相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 相模湾の漁場環境再生試験		
対応の内容等	本県沿岸域の海中の栄養塩濃度は、黒潮以外にも陸水等からの供給など、様々な外部要因が考えられ、濃度変化の要因を特定することは難しいと思われませんが、毎月の定線観測による栄養塩のモニタリング結果を基に、大蛇行前後を含む近年の相模湾の栄養塩量の変化を把握してまいります。 また、河口周辺の栄養塩の動態については、小田原の山王川河口沖で令和2年度から水質調査を実施中であり、栄養塩の季節変化はどの水深も毎年同様のパターンを示すことを明らかにしました。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			